

# 認知症を考える

## ～終末期をどうすごすか～

「認知症」は誰でもかかる可能性があり、いつ直面するか分らない身近な病気のひとつです。「認知症」と診断されたとき、「今までと同じような日常生活を送れるの?」「この先どのようになるの?」「少しでも進行を遅らせるにはどうしたらよいの?」など、不安に感じられる方も多いのではないのでしょうか。

今回の「今の医療、こんなんで委員会」では「認知症を考える」をメインテーマに3回シリーズで開催しています。

第3回目の最終回は、認知症の人が終末期になったときに、家族等が直面するであろう、様々な問題を一緒に話し合いたいと思います。

◎具体的事例を示しディスカッションの予定です。

- 終末期にまつわる家族の葛藤
- 家族間での介護方針の相違 等

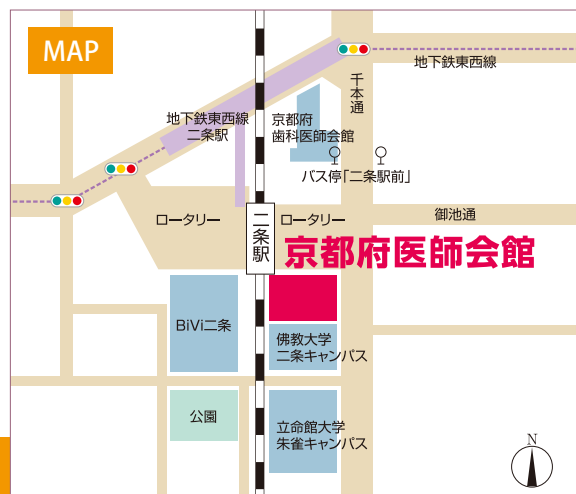
※リビングウィルについても紹介します。

フロアからも発言できる時間を設けますので、皆さまのご参加をお待ちいたしております。

※当日は自由参加になっておりますので直接会場にお越しください。

「今の医療、こんなんで委員会」とは…

医療・介護の問題について、いろいろな立場から本音を語り合い、お互いの理解、信頼関係を深めるためのエチケット・マナーを考えようという趣旨から始まった委員会です。



入場  
無料

定員 先着300名  
(事前申込不要)

開催日時

2017年 5月 28日

13時30分～16時00分

京都府医師会館 3階 310会議室

〒604-8585 京都市中京区西ノ京東柵尾町6

<バスをご利用の方> 京都市バス、JRバス「二条駅前」下車スグ

<電車をご利用の方> JR「二条駅」および地下鉄東西線「二条駅」下車  
阪急「大宮駅」、嵐電「四条大宮駅」下車徒歩約12分

主催：一般社団法人京都府医師会

【問い合わせ】 京都府医師会「こんなんで委員会」係 Tel.075-354-6101

※ご来館は公共交通機関をご利用ください。自家用車でのご来館はご遠慮ください。